

## 慰霊の千羽鶴 海を越えドイツへ

### ～肥沼信次博士の命日にあわせヴリーツェン市に送付～

第二次世界大戦終戦直後のドイツにおいて、伝染病患者の治療に尽力し、その功績を通じて八王子市とドイツ・ヴリーツェン市との友好交流協定締結のきっかけを築いた、本市出身の医師・故 肥沼(こえぬま)信次(のぶつぐ)博士。

八王子市では、博士の命日である3月8日にあわせ、毎年、市民の皆さんが心を込めて折った千羽鶴を受領し、博士が眠るヴリーツェン市へ送付しています。

千羽鶴は、博士の母校であり、ヴリーツェン市の聖ヨハニッター校と教育連携協定を結んでいる市立第三小学校、同じく聖ヨハニッター校と姉妹校提携を結んでいる八王子学園八王子高等学校、市立浅川中学校、市立四谷中学校の児童・生徒の皆さんをはじめ、博士の功績に感銘を受けた市民の皆さんによって折られたものです。

その千羽鶴を次のとおり受領し、市長の書簡を添えてヴリーツェン市へ送付します。

千羽鶴は現地で開催される慰霊祭において、肥沼博士の墓前に供えられる予定です。

- |         |  |
|---------|--|
| 1 日 時   | 2月12日(木) 午後4時30分   |
| 2 会 場   | 特別応接室(本庁舎3階)   |
| 3 出席予定者 | 八王子市立第三小学校 児童代表<br>八王子市立浅川中学校 生徒代表<br>八王子市立四谷中学校 生徒代表<br>八王子学園八王子高等学校 生徒代表<br>Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会 |



▲昨年の受領式の様子



▲送付した千羽鶴が飾られた博士の墓

<問い合わせ>

市民活動推進部多文化共生担当課長 佐藤 電話 042-620-7437